

牛乳パックリサイクルにおける 福祉作業所の実態調査中間報告

中間集計表

(回収数215)

最初に、貴施設について伺います

Q1 貴施設の概要について伺います。

- ① 貴施設名 (回答数 = 215)
- ② 施設の定員 (回答数 = 212)

| | | |
|--------|----|---------|
| 20人以下 | 85 | (40.2%) |
| 21～41人 | 68 | (32.0%) |
| 41～60人 | 40 | (18.9%) |
| 61人以上 | 19 | (8.9%) |

- ③ 施設の開設年 (回答数 = 207)

| | | |
|------------|----|---------|
| 1994年以前 | 89 | (42.9%) |
| 1995～1999年 | 37 | (17.9%) |
| 2000～2004年 | 50 | (24.2%) |
| 2005年以降 | 31 | (15.0%) |

④ 牛乳パック回収や製品づくりを開始した時期（回答数＝178）

| | | |
|------------|----|---------|
| 1994年以前 | 42 | (23.6%) |
| 1995～1999年 | 36 | (20.2%) |
| 2000～2004年 | 48 | (27.0%) |
| 2005年以降 | 52 | (29.2%) |

⑤ 施設での主な作業内容

牛乳パックを扱う作業はどのようなことをされていますか。（回答数＝191）

| | | |
|---------------------|-----|---------|
| 1 牛乳パックの回収作業 | 101 | (52.9%) |
| 2 牛乳パックを利用した製品づくり | 143 | (74.9%) |
| 3 自治体施設等での牛乳パック選別作業 | 3 | (1.6%) |
| 1と2を回答 | 59 | (30.9%) |
| 1と3を回答 | 1 | (0.5%) |
| 1と2と3を回答 | 2 | (1.0%) |

※複数回答のため、割合の合計が100%にならない。

牛乳パックの回収や製品づくり活動について伺います

Q2 貴施設では、現在、牛乳パック回収活動や牛乳パックを利用した自主製品づくりを行っていますか。

(回答数 = 214)

| | |
|----------|-------------|
| 1 行っている | 173 (80.8%) |
| 2 行っていない | 41 (19.2%) |

牛乳パックの回収や受入状況について伺います

Q3 貴施設の牛乳パック回収・受入活動の形態はどのようなものでしょうか。該当する番号に○印をつけてください（複数回答可）

（回答数 = 169）

| | | |
|--------------------------------|-----|---------|
| 1 一般家庭から牛乳パックを回収する | 131 | (77.7%) |
| 2 自治体が設置した分別回収ステーション等から回収する | 7 | (4.1%) |
| 3 小学校等、学校施設で集められる牛乳パックを回収する | 33 | (19.5%) |
| 4 スーパーマーケットに設置された回収ボックス等から回収する | 34 | (20.1%) |
| 5 学校、スーパー以外に設置された回収ボックス等から回収する | 14 | (8.3%) |
| 6 自治体が設置した公共施設の回収ボックス等から回収する | 11 | (6.5%) |
| 7 その他 | 52 | (30.8%) |

※複数回答のため、割合の合計が100%にならない。

Q4 貴施設の昨年度の牛乳パック回収・受入量を記入してください。昨年度のデータがない場合は直近1ヵ月間の回収・受入量を記入してください。アルミつき紙パックを回収している場合は、下の枠にアルミつき紙パックの回収量を記入してください。

※枚数で量をまとめている場合には、1ℓ牛乳パック30枚で1kgに換算してください。

| | | |
|-----------------------|------------------------|---------------|
| 牛乳パック回収量 | 597,384.5kg/年（回答数＝147） | 平均4,036.4kg/年 |
| 上記回収量のうち アルミつき紙パック | 1,274.6kg/年（回答数＝50） | 平均25.5kg/年 |

Q5 貴施設では、行政の集団回収に登録し、牛乳パックの回収について奨励金や用具の貸し出しなどの支援を受けていますか。該当する番号に○印をつけてください。（回答数＝162）

| | |
|-------------|------------|
| 1 支援を受けている | 27（16.7%） |
| 2 支援は受けていない | 135（83.3%） |

Q6

どのような支援を受けていますか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

(回答数 = 25)

| | |
|-------------------------|-------------|
| 1 奨励金を受けている | 25 (100.0%) |
| 2 回収活動に必要な用具の貸し出しを受けている | 0 (0%) |
| 3 ストックヤードの提供を受けている | 0 (0%) |

※複数回答のため、割合の合計が100%にならない。

Q7

奨励金を受けている方に伺います。奨励金額と支給を受けている市町村名を表に記入してください。なお、奨励金の支給が回収量に応じてではなく、施設単位で支給される場合（定額制）は下記へ記入してください。

| | |
|--------------|----------------------|
| 牛乳パック1kg 当たり | 平均5.6円/kg (回答数 = 20) |
| 定額制の場合： | 平均4.0円/kg (回答数 = 2) |
| | 月額3,000円 (回答数 = 1) |

Q8

貴施設では、回収した牛乳パックをどちらに収めていますか。複数の取引先がある場合には、おもな取引先を1つだけ選び○印をつけてください。また、下段の納入形態について該当する番号に○印をつけてください。

(回答数 = 167)

| | | |
|------------|-------------------------------|------------|
| おもな 納入先 | 1 回収業者 | 55 (32.9%) |
| | 2 直納問屋 | 6 (3.6%) |
| | 3 再生紙メーカー | 7 (4.2%) |
| | 4 スーパー、生協 | 0 (0.0%) |
| | 5 自治体 | 3 (1.8%) |
| | 6 福祉作業所 | 6 (3.6%) |
| | 7 市民グループ | 0 (0.0%) |
| | 8 その他 | 13 (7.8%) |
| | 9 すべて再生し製品づくりに使うので、 納入先はない | 84 (50.3%) |

※複数回答のため、割合の合計が100%にならない。

(回答数 = 77)

| | | |
|------|-------------------|------------|
| 納入形態 | 1 納入先が牛乳パックを取りにくる | 30 (39.0%) |
| | 2 納入先に牛乳パックを持っていく | 47 (61.0%) |

Q9 牛乳パックの取引価格について伺います。昨年度における平均的な取引価格を記入してください。

(回答数 = 75)

平均9.2円 / kg

Q10 貴施設では、牛乳パックの回収にあたって何か問題点がありますか。もしあれば該当する番号に○印をつけ、具体的な内容を () 内に記入してください (複数回答可)

(回答数 = 149)

| | | | |
|---|------------------------------|----|---------|
| 1 | ストックヤード等の牛乳パックの保管に関わる問題 | 23 | (15.4%) |
| 2 | 回収品の質の問題 | 20 | (13.4%) |
| 3 | 検品作業等の人手の確保 | 2 | (1.3%) |
| 4 | 牛乳パックの取引価格上の問題 | 6 | (4.0%) |
| 5 | 季節によって回収量・取引量が異なるなど、時期に関する問題 | 8 | (5.4%) |
| 6 | 現状では特に問題点はない | 97 | (65.1%) |
| 7 | その他 | 24 | (16.1%) |

※複数回答のため、割合の合計が100%にならない。

牛乳パックを再生した製品づくりについて伺います

Q11 貴施設では牛乳パックを再生した製品づくりを行っていますか

(回答数 = 173)

| | |
|----------|-------------|
| 1 行っている | 132 (68.9%) |
| 2 行っていない | 41 (31.1%) |

Q12 どのような製品をつくっていますか。該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

(回答数 = 132)

| | |
|---------|-------------|
| 1 はがき | 111 (84.1%) |
| 2 しおり | 34 (25.8%) |
| 3 カレンダー | 37 (28.0%) |
| 4 カード | 61 (46.2%) |
| 5 その他 | 96 (72.7%) |

※複数回答のため、割合の合計が100%にならない。

その他回答：名刺 (48)、封筒 (12)、イス (10)、コースター (10)、一筆箋 (10)、ポチ袋 (10) など

Q13 月間、どのくらいの牛乳パックを原料として使っていますか。製品の量から計算して、おおよその量でかまいませんので、使用量を記入してください。ほぼ、全量使用している場合は、回収量と同じ量を記入してください。アルミつき紙パックを使用している場合は、下の枠にアルミつき紙パックの使用量を記入してください。

| | | |
|-------------------|----------------------|------------|
| 牛乳パック使用量 | 2,603.6kg/月（回答数＝112） | 平均23.2kg/月 |
| 上記回収量のうちアルミつき紙パック | 210.75kg/月（回答数＝44） | 平均4.8kg/月 |

牛乳パックリサイクルに関するご意見をお聞かせください

Q14 牛乳パックのリサイクルについて、ご意見があればご記入ください（どのようなことでも結構です）
(回答数＝48)

和紙作り等でネット検索しても問題解決しない。又、本も少なく困っている。
製品の流通について、もっと事業所間の連携がとれることを希望します。独自の製品のオリジナリティも大切ですが、共同受注による作業の効率化も希望します。一度、いろいろな事業所との意見交換の場もあればと思います。

いつもお世話になっております。はがきや名刺の売り先に悩む日々ですが、営業力を身につけないといけないな…と痛感しております。今後ともよろしくお願いします。

現在、受託作業、下請け作業のあい間に再生し漉き作業をしている状態の為、殆ど稼働していない状況で、ストックしてある在庫で需要に対応しています。

自社製品づくりを、今の現状で行っているが、正直時間がありません。何か、より効率よくリサイクル製品づくりできるいい方法がありましたら、おしえて下さい。宜しくお願い致します。

牛乳パック（ネタ）が足りなくなり、各スーパーさんをお願いした時、大手は自社でリサイクルしています、とのことで、ネタが手に入りにくい事がありました。各施設の方々は、どうしていらっしゃるのか、と思っています。

500ミリリットルの小型のパックも回収してほしいと思います。環境事業局が月・金から月～金まで受け入れ日を広げてくれたことは助かります。

販路拡大のための営業力が弱い（製品）

以前は牛乳パックを再生したはがきやコースターをつくっていたが、現在は利用者の高齢化、重度化に伴い作業内容が変わってきて、再生した製品づくりは行っていない。牛乳パックの回収は続けていき、以前のように製品づくり（現在できる内容のもの）を行いたい。他のリサイクルも考えていく。

職員の名刺も牛乳パックのリサイクル品ですが、先方にお渡しすると「和紙ですか!？」と訊かれます。リサイクルだと伝えたと、びっくりされます。それだけ立派な紙に再生されるのですね。

| |
|--|
| <p>てすき製品だけでなく、他にどのような製品作りに生かせるのか知りたい。</p> |
| <p>回収に協力いただいている方で、中を洗わずに持って来られ、何日かたって中がカビになったものもある。持ち込まれる方には洗って持ち込んでほしい。でも、協力には感謝する。</p> |
| <p>フィルムのめくりにくいものがあり、利用者の方には難しいことがあるので、どんな種類でもうまくめくれる方法があれば教えてもらえたらありがたいです。</p> |
| <p>年に一度、カレンダー作りを2、3年しています。</p> |
| <p>紙すき作業は行っていますが、売上がとても少ないです。</p> |
| <p>牛乳パックの再利用法として自主製品を製作しているが、はがきやしおり等のポピュラーな物以外で他に作れるものはないか。牛乳パックの再利用方法について情報交換できる場がほしい。</p> |
| <p>名刺や症状など、その他リサイクルを図りたいが他部署での生産活動が稼働していないので納入先を探している。</p> |
| <p>牛乳パックを買い取ってくれる所があれば教えてほしい</p> |
| <p>以前はハガキ、うちわ等自主製品の制作をおこなっていたが、納品先の確保、作業面積の確保、利用者の重度化等から現在は回収のみ取組を行っているが、一定量確保するまでの衛生面、保管場所の確保が困難になってきている。</p> |
| <p>牛乳パックを溶かすのに、家庭用のジューサーミキサーを使用していますが、業務用のパック専用溶かすミキサーがあれば紹介をして頂きたい。</p> |
| <p>学校や家庭で牛乳パックを使って（できれば簡単に）できる小物製品等の紹介物がもう少したくさんあれば日常の作業活動にいかせるかなと思ってます</p> |

オットマンを作っている。牛乳パックが、利用者様の工賃になるので、地域とのかかわりを今以上にしようと思う

いつもお世話になっております。牛乳パックを店頭で回収させて頂いた事がありますが、どうしても材料になるまでの工程で、洗浄や異物が入る事での時間を必要としておりました。いろいろな施設への声かけにより、今は施設から頂く事を中心に利用してます。牛乳パックで再生する紙は酒パックや他の紙より繊維が粗く手漉き感は表しやすいと感じてます。今後も少ない量で小さな活動になると思いますが地道に活動していきたいと思ってます。

使用が少なく特に感じるものではありません

紙すきをつくっていますが、紙質がまばらになってしまうので、どうしたら良いか知りたい。

以前パック作成前のロールを頂き、めくる作業や製品づくりを行っていたが、現在は入ってこないで中止している。以前のように材料の供給はお願いできないか。

リサイクル作業で古紙、段ボール、古布の回収作業を行っています。利用者の作業の一環で、ハサミで切って広げてストックして、量がたまると業者に運搬しています。協力してくださっている地域の皆さんの中には、切って広げてあるものもあり、利用者の作業として取り組めないものもあります。単価が良いので、回収作業も続けられています。

現在のところ置き場所等の問題で回収していません。製品づくりにもそんなに量は必要としていません。必要なときは家族に頼んでいます。

製紙会社に見学に行ったとき、製品の中に牛乳パックを混ぜないと次の製品にならないことを知りました。私達作業所もかなり長く回収作業をしていますが、まれにですが、洗ってなく開いてないパックが置いてあります。カビが生え、臭いもすごくこうなると洗ってもなかなか落ちません。みんなでひと手間かけてリサイクルして下さると、資源のない私たちの国は助かるのです。

牛乳パックに段ボール等をつめて土台にしたものを、正座イスやスツールにしてバザー等で販売している。

障害の重いメンバーにとっては大切な仕事になっています。

牛乳パックがバージンパルプで出来ていてリサイクルしないともったいないということがよく理解できる内容でした。資料送付、ありがとうございました。

本当のリサイクルは再生紙を作ることだと思いますが、当施設では丈夫さを活かしてスツール等を作っています。原材料費のほとんどかからない製品づくりですので、工賃アップにつながっています。

手間がかかる(汚れを取り、切って袋に詰める)わりには、引取価格が安すぎる。

リサイクルセンターへ来所する利用者に声をかけると多く入ってくる。毎月としては少ない。

当作業所で行っている牛乳パック作業は、生協からパックを預かり、一定の重量に梱包し、生協に返却する作業を行い、手数料を生協から頂くというものです。

リサイクルの意識やマナーについての啓蒙活動をより行って頂きたい。

回収した牛乳パックを以前はすみれ作業所(郡上市)まで搬入していましたが、人員、高速料金等運搬が困難になってしまい、現在では回収業者に出しています。多治見市付近(生協多治見支所、店等)で納入できればと思います。

小さな作業所でリサイクルするには大変手間と経費がかかりますが、それを製品価格に反映できないので赤字です。ただ、メンバーの作業としては有効かと思っています。

回収ボックスは有料になったと聞いていますが、1つ800円でということですが、無料で回収ボックスを差し上げますというチラシがありました。どちらが本当ですか。コンビニでは臭いや衛生上の問題があり、全部外部に設置しているので、ひどくなると交換していかなければならない。

牛乳パックの再利用として取り組んでいます。リサイクル取り組みはしていません。あくまで原料として活用しています。

以前から町の資源ごみで牛乳パック回収はありましたが、手間がかかるため、可燃ごみに出す家庭もあったようです。私たちが回収を始め、それまで可燃ごみに出していた人が、回収ボックスに入れるようになったとの話も聞き、嬉しく感じています。

当施設は協力施設からの寄付で、酒パックを利用して全て商品製作で使用しています。回収活動にともなう報奨金制度、内容を教えて頂ければありがたいです。

いつも牛乳パックを集めるのに苦労しています。このたびアンケートに同封されていた回収ボックスのビラを見て、申し込んでみようと思います。

リサイクルは身近なところで誰しものが参加できるもの。それがどのようになっていくか、よく知ると、パックを出す人もイメージがついて良いと考える。

当施設では紙パックを使った製品を作っているが、なかなか販売先が確保できずにいる。

酒パックはアルミをはがしてから納品していますが、他の施設ではどのように処理しているのでしょうか？

和紙と同じ様に牛乳パックを利用し漉きたいが、板にはりつくなどなかなか上手く漉くことが出来ない。

本調査は、全国牛乳容器環境協議会との連携事業の一環で、9月1日付に実施したものである。

目的は、家庭などから排出される牛乳パックなどの紙パックリサイクル率が、近年30%程度にとどまっていることから、家庭以外で紙パックが有効に利用されていると思われる福祉施設及び福祉作業所の再利用実態を把握しようと、アンケート形式でおこなった。

全国の福祉施設及び福祉作業所約530か所をリストアップしたが、そのうち320か所については、交野市の「紙好き交流センター麦の会」のご協力をいただいた。

中間報告は、約4割の回答率をまとめたものであるが、その後も回答は戻ってきており、5割以上の回答率になると推定している。

中間結果から全体の牛乳パック使用量は500tを超え、牛乳パックの回収および、牛乳パックを原料にした自主製品作りは、福祉現場でとても大きな柱となっていることがわかる。それは、素材が扱いやすく作業に危険をとまなわないことや、回収や製品の販売をきっかけに障害者が社会参加できることなど、利点が多いからであるが、一方で、福祉現場にとっての牛乳パックは、障害者の生きがいづくりや自立支援のための一素材であるため、量的な把握が正確にできていない状況も見受けられる。

今年は、容器包装リサイクル法の見直しにあたり、回収率が低迷していると指摘されている紙パックについて違う角度から現状分析し、本調査の結果を今後の紙パックリサイクルを進めていく上において、役立てていきたいと考えている。

全国牛乳パックの再利用を考える連絡会